諸外国語アプリケーション科目　先取り履修　申請チェックシート

諸外国語アプリケーション科目は、本来、SAから帰国した後の学生が語学力をさらに伸ばす場として設けられている科目ですが、１～２年生でも受講にふさわしい力を備えた学生に先取り履修を認めています。諸外国語アプリケーション科目の先取り履修を希望する１～２年生は、次の説明を良く読んで申請してください。

１．あなたは次の外部語学検定試験の級やスコアをどれか１つ、すでに持っていますか？

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ドイツ語 | 独検3級、SD 2、FD 2 | ロシア語 | 露検３級、ТБУ / A2  語学能力認定書 |
| フランス語 | 仏検3級、DELF A1、TCF100-199、TEF 69-203 | 中国語 | 新 HSK4級 |
| スペイン語 | DELE B1 | 朝鮮語 | 「ハングル」能力検定試験3級、  韓国語能力試験3級 |

Yes → ２．に進んでください。

No → 諸外国語アプリケーション科目　先取り履修 の受講資格がありません。

２．ＳＡ担当の先生と、先生のメールアドレスは分かっていますか？

Yes → ３．に進んでください。

No → SA担当教員のメールアドレスは、国際文化学部HP「教員オフィスアワー」から確認してください。

３．先取り履修したいアプリケーション授業（英語、情報除く）の曜日と時限、教室、担当の先生は分かっていますか？

Yes → ４．に進んでください。

No → 国際文化学部のシラバス（講義概要）と時間割を見て調べてください。

４．先取り履修したいアプリケーション授業の初回授業に出席しましたか？

Yes → 自分がついていけるレベルか先生と相談した上で、５．に進んでください。

No → 第2回の授業開始前までに自分がついていけるレベルか先生にメール等で相談してください。第2回以降では遅すぎるので先取り履修を許可できません。

５．①自分の名前、②学生証番号、③持っている外部語学検定試験の級やスコア、④先取り履修したいアプリケーション授業の曜日と時限、⑤アプリケーション授業担当の先生の名前、を明記して、アプリケーション授業の先取り履修の受講許可書を書いてくださいと依頼するメールをＳＡ担当教員に送りましたか？

Yes → 受講許可書をＳＡ担当教員に書いてもらった上で、６．に進んでください。

No → 上の①～⑤を明記したメールをＳＡ担当教員に送ってください。

６． ㋐外部語学検定試験の級やスコアを証明する書類（提出の時点で有効なもの）

㋑ＳＡ担当教員に書いてもらった受講許可書

を登録フォームから提出してください。

20　　年　　月　　日

国際文化学部長殿

|  |
| --- |
| ＳＡ　　　　　　　　　　語担当 |
| 教員氏名 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　受講許可書

　　　　　　語の既修者である１・２年生の（学生氏名）　　　　　　　（学生証番号）　　　　　　さんから、　　　　　語アプリケーション科目について受講許可の求めがありました。つきましては、検討の結果、下記の科目に限り例外的に受講を許可します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学生氏名 |  |  |
| 学生証番号 |  |  |
| 取得済みの外国語検定試験 |  |  |
|  |  |  |
| 受講を許可するアプリケーション科目 |  | 語アプリケーション |
|  |  | 曜日　　　時限 |
|  |  | 授業担当者名 |
|  |  |  |

以上